

平成26年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成27年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況
 - (1) 学校教育課
 - 教職補助員配置事業
 - 英語教育の推進
 - 教育相談センター事業
 - 小中学校適正規模等見直し検討事業
 - 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
 - 県委託事業
 - 特色ある学校づくり推進事業
 - あま教師塾
 - 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
 - 教師力パワーアップ研修
 - 学校支援会議
 - あまっ子宣言
 - 全国大会等出場報奨金

■小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

■社会教育事業

■公民館事業

■成人式事業

■家庭教育推進事業

■青少年健全育成推進事業

■人権教育推進事業

■文化振興事業

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

■社会教育施設整備事業

■スポーツ教室

■スポーツ行事・大会

■その他スポーツ事業

■社会体育施設整備事業

■美和文化会館事業

■美和図書館事業

(3) 学校給食センター課

■学校給食事業

■学校給食センター整備事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成26年度は定例会議を12回、臨時会議を1回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成27年3月31日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日から平成27年6月24日
委員長職務代理者	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年6月24日 平成24年6月25日から平成28年6月24日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日 平成26年6月25日から平成30年6月24日
委 員	よしだ のりよし 吉田 法良	平成25年6月25日から平成29年6月24日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成24年4月1日から平成26年6月24日 平成26年6月25日から平成30年6月24日

(2) 教育委員会会議等

開 催 日	開 始 時 間	議案件数	報告件数
平成26年 4月24日(木)	午後2時	7	2
5月20日(火)	午後2時	6	5
6月25日(水)	午後4時30分	3	0
6月25日(水)	午後4時40分	7	9
7月14日(月)	午後1時	7	4
8月18日(月)	午後2時	8	4
9月22日(月)	午後2時	8	3
10月21日(火)	午後2時	6	6
11月24日(祝)	午後1時30分	6	5
12月22日(月)	午後2時	9	6
平成27年 1月27日(火)	午後2時	8	5
2月25日(水)	午後2時	8	10
3月23日(月)	午後2時	15	7

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「教科用図書の採択」など93件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

また、臨時会（平成26年6月25日開催）では、「教育委員会委員長の選出」など3件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	44回
○都市教育長会事業	14回
○海部地方教育事務協議会	9回
○学校行事	81回
○学校訪問	15回
○その他学校教育課事業	48回
○生涯学習課事業	43回
○学校給食センター事業	6回
○表敬訪問	21回
○その他の事業	92回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。これらの考えをもとに、平成24年4月に策定した「あま市教育立市プラン」の具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
 - ・教育相談（教育相談室）…教育相談員、心理支援指導員、生徒指導支援員、親と子の相談員
 - ・教育アドバイザー派遣（全小中学校）
 - ・適応指導教室事業
- 人権教育の推進
- 特色ある学校づくり推進事業
- あま教師塾
- 教育人材バンクと出前授業
- 教員研修「教師力パワーアップ研修」
- いじめ・不登校対策協議会（含 学校支援会議）
- 第Ⅲ・Ⅳ期 教育課題検討委員会
- ドリームマップ作成事業（全小学校4年生又は5年生全員）
- 緑化事業（各小学校）
- 学習畑（美和地区4小学校、甚目寺地区2小学校）

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■教職補助員配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (チーム・ティーチング) 指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

- ・スクールサポーター 61人

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T T の授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

T T …担当の教師が進める授業に、教師と教職補助員がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人(4人)と外国人(6人)の非常勤講師を英語指導助手(A L T)として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 10人(アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、日本)
- ・中学校：英語指導助手 4人(アメリカ合衆国)

また、市内外国語部会を年間3回開催し、各学校の外国語活動の取組について情報交換を行いました。

※ 各小学校では、A L TとのT T指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、A L Tと英語教師によるT T指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

新学習指導要領の実施に伴い外国語活動が始まり、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導及び支援」を三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士のかかわりや高まりを大切にした学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣」と「教師力パワーアップ講座」を実施しました。

- ・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講

師・助言者を外部から招聘しました。

・教師力パワーアップ講座

教員の力量向上を目指して年6回の講座と特別講座3回を実施しました。児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義やリスクマネジメントや授業づくりに関する講義が行われました。

○教育相談事業

教育上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

【職員】	・教育相談員	1人
	・心理支援相談員	2人
	・生徒指導支援員	1人
	・親と子の相談員	1人

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

・保護者	332件	
・児童生徒	1,111件	
・教職員	678件	
・教室訪問	543件	合計 2,664件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生活指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】	・専任指導員	1人
	・補助員	6人

【通室者】	・平成26年度適応指導教室の登録者数	27人
	・適応指導時間数	のべ5,704時間

※ 学校支援室、教育相談室、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理士の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでいますが、児童生徒数の規模の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、市民の意見を聴きながら学区の見直しの必要性を検証し、必要に応じて旧3町の枠組みにとらわれることなく学区の抜本的な見直しを行うことにより適正規模化を進めることに取り組みました。平成26年度は1地区で検討委員会を設置し、市民の意見を聴きながら検討をしました。

○篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会

・七宝北中学校の小規模校、美和中学校の大規模校解消に向けて篠田小学校・美和東小学校の学区の一部を美和中学校の学区から七宝北中学校の学区に変更す

ることについて検討

- ・地区委員会（4回開催）

6月13日、8月28日、11月25日、1月26日

- ・PTA役員説明会の開催：9月5日（美和東小学校）、9月10日（篠田小学校）

※ 美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区は学区見直しに対する問題点が山積していることが明確になり、もっと時間をかけて、また、美和東小学校区・篠田小学校区の七宝北中学校に近い地区も含めて検討しました。

学区の見直しについての方向性を見出せなかったものの、学校の適正規模等について、平成27年度も引き続き検討をし、平成28年度中には方向性を決定します。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成26年度の研究主題を「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育 ―教職員の研修を充実させ、子どもたちの意識・意欲・態度を育てるために―」として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

○会 長 甚目寺中学校長

○事業費 800,000円（市補助金）

○主な活動内容

- ・海部地区人権教育講演会実施
- ・全国人権・同和教育研究大会等参加
- ・研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

■県委託事業

学校活動を円滑かつ充実させるために次の事業を実施しました。

○あいち・出会いと体験の道場推進事業

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の2年生を対象に実施しました。

- ・事業費 539,560円（うち県委託金 222,000円）・実施内容

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	180名	6月11日～13日	58か所
七宝北中学校	73名	6月24日～26日	20か所
美和中学校	240名	10月28日～30日	67か所
甚目寺中学校	230名	11月5日～7日	57か所
甚目寺南中学校	170名	11月11日～11月13日	40か所

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の

適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○地域に学び・語り継ぐ キャリア教育推進事業

愛知県の委託事業として、地域の方を招いて講話や体験活動等を実施することで、児童が働くことや人の生き方について自らの考えを深めることができました。

- ・事業費 123,400円（うち県委託金 123,400円）
- ・実施校 正則小学校
- ・実施学年 5・6年生
- ・事業内容 職業講話を聞く
職業体験をする
地域や下級生、保護者へ語り継ぐ

※ 地域で働く人々を講師にして、職業について考える会を開催しました。また、地域の協力を得て、グループに分かれ事業所や施設等で実際に職業体験をしました。さらに職業講話や職業体験により学んだことを、地域や下級生、保護者に発信し、この事業を通して、将来の職業について興味や意欲を持つことができました。

○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業

愛知県の委託事業として、児童生徒の心に響く道徳教育の指導のあり方について研究を深めました。

- ・事業費 308,571円（うち県委託金 308,571円）
- ・実施校 甚目寺小学校
- ・対象学年 全学年
- ・事業内容 外部講師を招いた道徳勉強会
道徳の授業と道徳的実践の場としてのESD活動実践の展開
自己肯定感を高める取組

※ 外部講師を招き、教材開発、指導方法などを学び、職員の指導力向上を図りました。また、人間関係を学ぶ学習をとおして自己肯定感を高め、道徳的実践力の育成を図りました。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 6,703,557円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、11月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。事業の主なものについては次のとおりです。

- (1) 教師の資質向上を図り学校の教育力を高める事業
- (2) 子どもの基礎学力向上を図り確かな学力を育成する事業
- (3) 豊かな心づくりとたくましい体力づくりに関する事業
- (4) 学校を開き、家庭・地域・学校が連携し「地域に密着した学校づくり」に関

する事業

(5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加

審査会を実施することで、限られた市の予算をより熱い思いの事業、特色ある学校づくりの活きた財源となるように配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりをめざし、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

※ 3年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

■あま教師塾

市教育委員会では、平成24年度から、あま市内の小中学校の新任から2年目・3年目の教職員を対象として、自主的な研修活動を行うため「あま教師塾」を設置しました。平成25年度からは、期限付任用教員（期付）・派遣非常勤講師（非常勤）・臨時的任用教員（臨任）もこの塾に参加できることとし、教師力の向上を進めています。

あま教師塾では

- ・授業づくり・学級づくりに関する研修
- ・児童生徒や保護者との対応に関する研修
- ・カウンセリングや特別支援に関する研修
- ・喫緊の教育課題に関する研修

などを取り上げ、座学だけでなくグループ・ワーク等を実施しています。あま教師塾の企画・運営は、市内の校長・教頭・教務主任の代表と市教育委員会事務局に勤務する者とで運営委員会を構成し、実施しています。

※ 市内の若手教職員の研修活動を支援することができました。1年を通して8回の研修活動を行い、教師としての成長を感じました。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

市教育委員会では、平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、次の活動を行うものとしています。

(1) 講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等を学校の依頼に応じて行うものとする。

(2) 学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援を行うものとする。

平成26年1月末までに、各学校が教育人材に関するリストを提出し、このリストを基に、登録申請の受付をし、人材バンクの登録確認を行いました。

今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やしていく予定です。

また、人材バンクと併せて「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を全ての小学校（12回の出前授業）で実施しました。さらに小学校理科出前授業を5校で実施しました。また平成26年度は、小学校高学年の希望者を対象に「あま市ものしりジュニア選手権」を実施しました。

※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクの設置、及び出前授業の実施は、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。また、ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■教師力パワーアップ研修

平成23年度から始まった教師力パワーアップ研修は4年目を迎えました。平成26年度は講座にテーマを設定し、校務分掌等がかかわりのある教師に参加を依頼しました。日頃いろいろな問題に出会い、教師としてその解決に戸惑う場面に突き当たることが多くあり、そのような時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることがこの講座のねらいです。講座の内容は次の通りです。

回数	研修内容	講師
1	学校経営について	元豊田市立前山小学校長 枅岡 譲氏
2	学校の中での教育法規	蛭間小学校主査 大野 正親氏
3	楽しい理科実験	愛知淑徳大学教授 佐藤 成哉氏
4	学校生活の中の遊び	子育てネットワーク『い しょにあ・そ・ぼ』代表 志村 貴子氏
5	健常児の中での障がい児の指導について	小牧市教育委員会 山本 順大氏
6	持続可能な開発のための教育（ESD）とは	EPO中部代表 新海 洋子氏

特別講座

1	教育論文の書き方・見方	教育委員会 担当者
2	公文書の書き方	教育委員会 担当者
3	発達障がい理解講座	教育相談センター

※ 教員の資質や力量の向上のため、校内では十分に行うことのできない研修について補充・充実を図ることができました。

■学校支援会議

市教育委員会では、平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（略称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

①家庭への働きかけや保護者に対する指導

②学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・

保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請

③緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良いと考える教職員）

・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

(1)あま市教育委員会（指導主事など）

(2)あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

・会議の必要に応じて招集するメンバー

(3)海部児童・障害者相談センター

(4)警察関係者

(5)学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）

(6)学校医・学校歯科医・あま市民病院

(7)あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

■あまっ子宣言

あま市の子どもたちの行動指針となる「あまっ子宣言」を、校内に掲示しました。

※ 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいきます。

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場する市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

国際大会 1人

全国大会 49人、2団体

・事業費 295,000円

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

■小中学校施設整備事業

安全・安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○あま市内7小中学校非構造部材耐震改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

平成22年3月文部科学省作成、「地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために」～学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック～に基づき調査を行い、外壁及び窓ガラス改修工事をしました。

・事業内容 外壁改修及び飛散防止フィルム貼り等

・事業費 575,964,000円

※ この改修工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○美和小学校トイレ改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

美和小学校のトイレは、湿式床であり排水も悪く汚臭の原因の一つとなっていました。また、肢体不自由の児童も在籍しており、障がい者対応トイレの設置が急務となっていたため、改修し施設整備に努めました。

- ・事業内容 校舎及び屋内運動場の計7ヵ所のトイレ改修
- ・事業費 81,194,400円

※ この改修工事を実施したことにより、児童が安全安心に使用できるトイレの整備を進めることができました。

○甚目寺小学校プール改修工事

プール槽及びプールサイドの経年劣化に伴い、塗料の溶解、コンクリート部の亀裂、金属の腐食、付帯設備の故障等を改修し施設整備に努めました。

- ・事業内容 プール槽改修工事
- ・事業費 23,846,400円

※ この改修工事を実施したことにより、児童が安全安心に使用できるプールの整備を進めることができました。

○甚目寺小学校公共下水道接続工事（学校施設環境改善交付金事業）

甚目寺小学校地区は、平成24年度より公共下水道の供用開始区域となっているため、下水道への接続工事を行いました。

- ・事業内容 公共下水道への接続工事
- ・事業費 19,850,400円

※ この接続工事を実施したことにより、環境配慮及び衛生的な学校の整備を進めることができました。

○甚目寺西小学校キュービクル改修工事

設置後30年以上が経過するキュービクルは、部品の経年劣化によって漏電によるショートの高まるため、事故が発生する前に改修し施設整備に努めました。

- ・事業内容 キュービクル改修工事
- ・事業費 5,184,000円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

○美和中学校西館エレベータ改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

設置後30年以上が経過する給食用昇降機は、部品の消耗劣化が進み誤作動の可能性もあるため、事故が発生する前に改修し施設整備に努めました。

- ・事業内容 エレベータ改修工事
- ・事業費 17,161,200円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

○七宝中学校校舎屋上防水工事

経年劣化により校舎屋上のコンクリートに亀裂が入っており、4階天井部に雨漏りが起こっていたため、屋上防水工事を実施し施設整備に努めました。

・事業内容 校舎屋上防水工事

・事業費 41,396,400円

※ この改修工事を実施したことにより、防水効果の改善、耐久性の向上等の整備を進めることができました。

(2) 生涯学習課

■社会教育事業

市民の自発的な学習意欲を喚起するとともに、学習の機会を提供しました。

○社会教育事業

下記のとおり市民大学講座を開催し、多くの参加を得ました。

美和公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
市民大学講座	一般	6回	25名	25名	30名

七宝公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
市民大学講座	一般	6回	25名	19名	19名

※ 市民大学講座を通じて、幅広い知識を学ぶことができました。また、市民と市民の繋がりを深めることができました。

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会を提供し、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○親子ふれあい講座

下記のとおり小学生の親子対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子ヨガ	親子	1回	20組	9組(20名)	11組(24名)
親子ダンス	親子	1回	20組	9組(22名)	9組(22名)
親子お菓子作り	親子	1回	18組	17組(35名)	18組(37名)
親子フラワー①	親子	1回	12組	11組(21名)	12組(23名)
親子パン作り①	親子	1回	12組	12組(26名)	12組(26名)
親子お菓子作り	親子	1回	18組	17組(37名)	18組(39名)
親子パン作り②	親子	1回	12組	9組(18名)	10組(20名)
親子フラワー②	親子	1回	12組	8組(16名)	8組(16名)
親子ダンス	親子	1回	20組	6組(13名)	6組(13名)

○公民館講座

下記のとおり各種講座等を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会や場を提供しました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パン作り	一般	5回	36名	36名	48名
パン作り②	一般	5回	36名	36名	39名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8回	15名	15名	62名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス②	一般	8回	15名	15名	89名
すぐできるコミュニケーションのとり方、聴き方・話し方のコツ	一般	6回	30名	30名	40名
楽しく学ぶ英会話レッスン〈中級クラス〉	中学生以上	5回	15名	15名	15名
クリスマスケーキ作り（託児付）	一般	1回	36名	36名	90名
ワード初級	一般	6回	15名	15名	23名
ワード中級	一般	10回	15名	15名	26名
エクセル初級	一般	6回	15名	15名	24名
エクセル中級	一般	10回	15名	13名	13名

美和公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
ピラティス	一般	5回	20名	20名	55名
薬膳料理をもっと身近に！ ～からだの内側から美しく健康に～	一般	5回	25名	25名	30名
エシカルについて考えよう	一般	1回	15名	6名	6名
楽しく学ぶ英会話レッスン〈上級クラス〉	中学生以上	5回	15名	7名	7名
国際理解教育講座『世界を知って異文化を感じる』	一般	6回	25名	25名	31名
料理講座「はじめてのイタリア料理」（託児付）	一般	5回	24名	24名	41名

甚目寺公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン	一般	3回	15名	15名	61名

スイーツデコBOX作り	一般	2回	15名	4名	4名
スイーツデコでカップパフェのメモスタンド作り①	小学生～一般	1回	10名(組)	6名(5組)	6名(5組)
スイーツデコでカップパフェのメモスタンド作り②	小学生～一般	1回	10名(組)	7名(7組)	8名(7組)
スイーツデコでカップパフェのメモスタンド作り③	小学生～一般	1回	10名(組)	2名(1組)	2名(1組)
はじめてのゆたか着付け	女性	1回	25名	7名	10名
子どもの理科教室	小学校3～6年生の児童	1回	15名	15名	22名
子どものパソコンレッスン	小学校4～6年生の児童	1回	10名	10名	16名
楽しく学ぶ英会話レッスン(初級クラス)	中学生以上	5回	15名	15名	15名
上手に書けるボールペン・筆ペン(基礎編)	一般	3回	15名	15名	83名
もっと上手に書けるボールペン・筆ペン(応用編)	一般	3回	15名	15名	37名
着物の着付けと装い(託児付)	女性	5回	25名	26名	26名
知って得する“薬のあれこれ”ー最近の薬から生薬までー	一般	3回	30名	44名	44名
木の実を使ったクリスマスリース(託児付)	女性	2回	20名	19名	19名
ミニ門松を作ってみよう!①	一般	1回	15名	17名	17名
ミニ門松を作ってみよう!②	一般	1回	15名	7名	7名

○公演・イベント・図書室事業

下記のとおり親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

事業名	事業内容	開催日時	会場	入場者
親子ふれあい映画会	「怪盗グルーのミニオン危機一発」上映	平成26年8月23日(土)午後2時～	七宝公民館講堂	25名
	「ロラックスおじさんの秘密の種」上映	平成26年5月17日(土)午前10時30分～	甚目寺公民館大ホール	126名
親子人形劇鑑賞会	人形劇団「むすび座」公演 ・「やんすけとやんすけとやんすけと」 ・「小坊主ちゃん念ぼん念の三まいのおふだ」	平成27年2月14日(土)午前10時30分～	甚目寺公民館講義室	108名
親子ふれあい音楽会	・「12th street rag」 ・「おもちゃのちゃちゃちゃ」 ・「聖者の行進」他	平成26年8月24日(日)午後2時～	甚目寺公民館	126名

	・「プリンクプランクプルンク」 ・「さよならの夏」 ・「運命第一楽章」他	平成27年2月7日(土) 午後2時～	美和文化会館大ホール	235名
図書室事業	読み聞かせ	毎週土曜日(第2除く) 39回/年 午後2時～午後2時30分	甚目寺公民館 図書室	131名
	紙芝居	第2土曜日 12回/年 午後2時～午後2時30分	甚目寺公民館 図書室	51名

○パソコン相談室

・甚目寺公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

実施回数 20回

五条高等学校パソコン部委託分 9回

甚目寺パソコンクラブ委託分 11回

・七宝公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

現在住民の方3名のボランティアの協力により実施しています。

実施回数 24回

※ 講座を通じて自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。また親子対象の事業では、共通の話題ができ、親子のふれあいを深めることができました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことをお祝いし、これから一層成長されることを願って、市と市教育委員会の共催により実施しました。

・日時及び場所：平成27年1月11日(日)＜第2日曜日＞

午前9時30分～午前11時05分、甚目寺公民館大ホール

午前10時30分～午前12時05分、美和文化会館大ホール

・行事の内容：式典、成人式実行委員会企画

・記念品：名刺入れ

・新成人：平成6年4月2日～平成7年4月1日生れ

・対象者：859人(男性443人、女性416人)

・参加者：658人(男性334人、女性324人)＜参加率約76.6%＞

※他、市外からの参加者70人

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者により、受付、司会等が行われ、感動的な式典となりました。成人の日を迎えたことをお祝いし、これから一層成長されることを願って、市と市教育委員会の共催により実施しました。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えています。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

講座名	開催場所	受講者数
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	海部東部消防署	15組（42名）
おうちで出来る子どもの前髪カット	七宝公民館	6組（10名）
親子で野菜作りPART8	あま市二ツ寺地内	16組（44名）
ドロンコ遊びをしよう	あま市二ツ寺地内	18組（51名）
ママと子の心をつなぐ◇勇気づけ◇ ～感じて♪学ぼう♪やる気の源《自己肯定感》～	甚目寺公民館	10名
非常食を試食してみよう&あま市避難 所での生活を考えてみませんか？	美和公民館	12組（14名）
赤ちゃんと一緒にベビーダンス	甚目寺公民館	13組（26名）
	美和公民館	8組（16名）
	七宝児童館	13組（26名）
新・ママ&パパ&ベビーの地域デビュー	甚目寺公民館	8組（17名）
ミニチュア土器作り&火おこし体験 ～弥生時代を感じてみませんか～	清洲貝殻山貝塚資料館	7組（21名）
カラーセラピー（色彩心理学）について 学びましょう	七宝公民館	12名
開催！芋ほり祭り	あま市二ツ寺地内	20組（53名）
クリスマスを食べよう	七宝公民館	11組（23名）
	美和公民館	10組（21名）
凧を作って遊ぼう	七宝焼アートヴィレッジ	17組（55名）

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

【各小中学校委託】41事業（小学校12校、中学校5校）

○「子育てサロン」

七宝公民館和室・甚目寺公民館談話室に「飲食ができるスペース」、「子どもを遊ば

せることができるスペース」をつくり、保護者と子どもが集える場を提供しました。

- ・七宝公民館（8・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分）

開催日数 延べ20日

参加者数 延べ55組109名

- ・甚目寺公民館（8・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時）

開催日数 延べ30日

参加者数 延べ104組240名

※ 参加者が子育ての知識を得るとともに、親同士のつながりを持つことができ、今後の子育ての問題解決の糸口をつかむきっかけとなりました。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○夏季街頭パトロール活動

平成26年7月18日（金）～8月25日（月）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○「第2回あまつり2014」夜間街頭パトロール活動

平成26年8月16日（土）、会場となった七宝焼アートヴィレッジ周辺の街頭パトロールを行いました。

○街頭啓発活動

平成26年11月30日（日）、あま市人権講演会において、啓発資材（コンパクト爪やすり、野菜の種）の配布を行いました。

○冬季街頭パトロール活動

平成26年12月22日（月）～平成27年3月13日（金）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○中学校卒業式前夜パトロール活動

市内各中学校卒業式（3月5日）の前夜の平成27年3月4日（水）、校内及び会場周辺の街頭パトロールを行いました。

※ いじめ問題に悩む子ども、非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、実施しました。

- ・日 時：平成26年8月1日（金） 午後2時～午後4時

- ・場 所：甚目寺公民館大ホール

- ・講師：中野 佐世子 氏
NHK手話ニュースキャスター・手話通訳士
- ・演題：「心のバリアをはずして」
- ・参加者：535名（対象／市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員他）

※ 講演を通じて、多くの方が人権問題の正しい認識と理解を深めることができました。

■文化振興事業

市民に芸術・文化にふれる機会や、芸術・文化活動の発表機会の充実を図りました。

○第5回あま市文化祭（あま市文化協会主催）

あま市文化祭は、あま市文化協会が主催し、あま市の補助金を活用して、市民及び文化・芸能団体に発表の機会を提供するとともに、文化・芸能に係る資質の向上を促し、市民のより豊かな生活の実現を目指し開催しました。

- ・作品展示、生花展示、芸能発表会、茶会
日 時：平成26年11月1日（土）、2日（日）午前10時～午後4時
会 場：七宝公民館、甚目寺公民館及び美和文化会館
参加者数：作品展示 文化協会34団体651名、一般参加100名
生花展示 文化協会12団体113名
芸能発表会 文化協会54団体663名、一般参加5団体105名
- ・第5回あま市民囲碁大会
日 時：平成26年11月9日（日）午前9時～午後5時
会 場：七宝公民館
参加者数：文化協会3団体60名、一般参加0名
- ・第5回あま市民将棋大会
日 時：平成26年11月9日（日）午前9時～午後5時
会 場：甚目寺公民館
参加者数：文化協会3団体40名、一般参加6名

※ 参加者にとっては発表の場、来場者にとっては文化活動に触れる機会をより多く提供できたことは文化振興の一助となりました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人一人の文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○企画展示会

下記のとおり、美和歴史民俗資料館等にて企画展を実施、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企 画 展 名	開 催 場 所	開 催 期 間	入 場 者 数
収蔵品展	美和歴史民俗資料館	2/28～5/16	469名
ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	6/1～6/30	2531名
夏の掛け軸 ～床の間にある夏～	美和歴史民俗資料館	7/18～9/21	440名

秋の企画展 語り継ぎたい郷土の偉人展	美和歴史民俗資料館 甚目寺歴史民俗資料館 人権ふれあいセンター 七宝焼アートヴィレッジ	11/1～12/7	565名
日本画に描かれる人物	美和歴史民俗資料館	3/30～5/19	267名

○歴史散策事業

市内各地で執り行われる祭事、史跡や文化財をめぐる散策により、市の歴史文化を認識する機会を提供しました。

事業名	散策地	開催日	参加者数
歴史散策講座 (アルケミスト)	福島正則を偲ぶ散策会	4/19	24名
	下萱津のフジとその周辺	4/26・27	120名
	遠島の着倒れ篠田の食い倒れ	6/14	15名
	郷土の偉人を訪ねて	11/9	22名
海部歴史研究会主催 歴史散策事業 あまてらす 「海拔ゼロ、そこに見える 風景は」	飛島村内	11/22	31名

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化（田んぼ）の役割と地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。対象は小学生。

内容	開催日	参加者数
田んぼの学校	7/20	延 64名
水質調査	7/28	
木曾川調査	8/5	
エコきっずサミット参加 (会場：蟹江歴史民俗資料館)	8/22	

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に認識する機会を提供しました。

事業名	講師／演題	開催日 及び場所	参加者数
海部歴史講演会	講師：木村 妙子 氏・蔭山 誠一 氏 演題：「海部地域のくらしと環境 －貝殻が語る歴史－」	3/1 蟹江町産業 文化会館	120名
歴史文化講演会	講師：筒井 正 氏 演題：「あま市と北米移民について」	11/30 七宝公民館	32名
	講師：若山 聡 氏 演題：「あま と やま」	1/25・2/1 美和歴史民俗資 料館	延 60名

	講師：藤井 智鶴 氏 演題：「古文書解読のコツ」	3/14 甚目寺公民館	16名
	講師：河合 幸男 氏 演題：「あま市と鎌倉街道」	3/15 美和歴史民俗資料館	46名
地域デビュー講座 (カタロマイ)	講師：石寫 重夫 氏 演題：「旅と私と故郷あま」	6/9 七宝公民館	14名
	講師：美和歴史民俗資料館職員 演題：「ものしり読本を読み解く」	1/31 美和歴史民俗資料館	19名

○文化体験講座

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

講座名	講師	開催期日	場所	受講者数
坐禅に学ぶ	山田恭信 氏 (菊泉院住職)	10月～11月(4回)	菊泉院	16名
古文書解読講座	藤井智鶴 氏	6月～2月(9回)	甚目寺公民館	16名
しめ縄教室	竹田武夫 氏	12月20日	美和歴史民俗資料館	20名

○出前授業(移動博物館)

歴史民俗資料館の収蔵品を資料として、昔の暮らしと生活道具について出前授業を実施しました。子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

- ・実施校：市内全小学校
- ・対象：小学3年生
- ・資料：蚊帳、箱膳、ひのし、いずみ、釜、箱寿司道具、徳利、尋常小学校教科書など16点ほど

○検定事業

検定を通してあま市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

(1) 第3回あま市ものしりジュニア検定

- ・実行委員長 渡辺幸人 氏
- ・期間：平成27年1月下旬～2月上旬
- ・会場：市内各小学校
- ・対象：小学6年生
- ・受検者：879名
- ・平均点：69点(80点以上295名：36%)

*あま市ものしりジュニア選手権

- ・日時：平成27年2月22日(日)10:30～16:00

- ・参加者数：90名（三人一組で申込み）
- ・対象：市内小学4年～6年生児童
- ・会場：七宝産業会館2階

（2）第5回あま市ものしり検定

（四択50問ビギナー編・四択100問エキスパート編）

- ・実行委員長 浅井厚視 氏
- ・日時：平成27年3月1日（日） 午後2時～
- ・会場：情報ふれあいセンター
- ・受検者：33名（ビギナー編：7名、エキスパート編：26名）
- ・合格者：19名（ビギナー編：1名、エキスパート編：18名）
- ・合格率：ビギナー編 約14.2%、エキスパート編 約69.2%
- ・備考：2月14日（土）、美和歴史民俗資料館において、事前講習会を実施
参加者31名が参加しました。合格者にはオリジナルのピンバッジを贈呈しました。

○文化財事業

<公開>

県天然記念物 下萱津のフジ公開事業

- ・公開日 平成26年4月26日、27日
- ・協力 下萱津区、下萱津老人会、(株)河村産業所、ムツワホールディングス
- ・見学者 686名

<指定>

「間取り花鳥文大花瓶（七宝焼作品）」の文化財指定

- ・種別 市指定有形文化財 工芸
- ・所蔵先 あま市（七宝焼アートヴィレッジ）
- ・指定年月日 平成27年1月27日

<保護>

第61回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日時：平成27年1月26日（月） 午前10時～午前11時
- ・参加者：海部東部消防署20名、市消防団8名、甚目寺観音自衛団8名
- ・その他：甚目寺小学校4年生が訓練の様子を見学した後、消防車両の説明を受けました。

<調査>

オコワ祭の民俗調査（市指定無形民俗文化財）

- ・調査団体：尾張西部のオコワ祭調査委員会
- ・その他：あま市と愛西市で執り行われる同祭を10名の専門員により調査し、27年度に報告書を刊行します。

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
資料館だより ニューズレター005号	歴史民俗資料館事業報告、資料館ニュースなど	A4版、8頁 2,000部

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により、文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○碓目寺公民館大ホール舞台吊物機構更新工事

大ホール舞台吊物機構のうち、更新年数及び耐用年数を超過した吊物機構の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 マニラロープ及び吊物ワイヤ並びにカットマスクの取替、天井反射板昇降装置の更新
- ・事業費 5,616,000円

※ この工事を実施したことにより、大ホール舞台吊物機構の機能維持と施設利用者の利便性向上を図ることができました。

○七宝公民館講堂舞台吊物機構更新工事

講堂舞台吊物機構のうち、経年劣化の著しいワイヤや後幕及び故障により使用停止となった緞帳機構の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 吊物ワイヤ及び後幕の取替、緞帳機構一式の更新
- ・事業費 3,024,000円

※ この工事を実施したことにより、講堂舞台吊物機構の機能維持と施設利用者の利便性向上を図ることができました。

○七宝公民館視聴覚室天井吊形パッケージエアコン更新工事

視聴覚室空調機の経年劣化が著しく、供給部品もないため更新工事を実施しました。

- ・事業内容 視聴覚室空調機の機器一式の更新
- ・事業費 486,000円

※ この工事を実施したことにより、施設利用者に快適な施設環境を提供することができました。

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室（前期）	5月13日～ 7月1日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	21組	親子と一緒に鉄棒・ マット運動・跳び箱 等を行い、運動の基 本を習得することを 目的として実施しま した。
親子体操教室（後期）	10月14日～ 12月2日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	25組	
親子体操教室①	6月3日～ 2月24日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室②	6月10日～ 3月3日 隔週火曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室③	6月10日～ 3月3日 隔週火曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
ボクササイズ教室	5月27日～ 7月1日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	23名	ボクササイズを通し て健康な生活を送る ことを目的に実施し ました。
ペアヘルスストレッチ 教室	10月28日～ 12月2日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	4組	家庭でもできるスト レッチを二人一組で 行い健康な家庭を築 く目的で実施しまし た。
ヨガ教室（前期）	5月23日～ 7月11日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	ヨガの基本的な呼吸 法と基本ポーズの習 得を目的に実施しま した。
ヨガ教室（後期）	10月24日～ 12月12日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～①	10月2日～ 12月4日 毎週木曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	学童の成長や発達過 程から「動作の習熟 」を主眼に置き、楽し くからだを動かすこ とを目的として実施 しました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～②	10月2日～ 12月4日 毎週木曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月2日～ 12月4日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳 以上	10名	高齢者が自らの体 力・健康を自覚して、 自発的な介護予防に 向けた生活を送れる ことを目的として実 施しました。
健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニ ング室を利用しよう～	10月4日～ 12月6日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生 以上	10名	トレーニング室を利用 し、器具の正しい使 い方、効果的なトレ ーニング方法の習得 を目的として実施し ました。

キッズエアロファンク教室	7月24日～ 8月28日 水・木曜日 (15:00～16:00)	七宝 総合体育館	8回	小学生	30名	健康や体力の維持、向上を目的として、小学生を対象にストリートダンスの要素を含む16ビートのファンクミュージックにのせて行うキッズエアロファンク教室を実施しました。
	8月1日～ 8月22日 木・金・日曜日 (15:00～16:00)	甚目寺 総合体育館	8回	小学生	30名	
小学生スポーツ教室 (団体スポーツ教室)	7月25日～ 8月29日 金曜日 (14:30～15:30)	七宝 総合体育館	5回	小学生	32名	小学生を対象にドッジボールを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期 日	曜日	実施場所	参加者数	内 容
市民ラジオ体操の集い	5月25日	日	美和中学校運動場	366名	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	6月29日	日	甚目寺総合体育館 (野外ステージ)	187名	
	7月20日	日	七宝焼 アートヴィレッジ	342名	
市民歩け歩け会	11月16日	日	馬籠・妻籠宿	108名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
市民走ろう歩こう会	12月14日	日	木曾三川公園 東海広場	283名	木曾三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■その他スポーツ事業

○夏休みプール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	期日	実施場所	参加者数	内容
夏休みプール開放事業	8月3日～ 8月17日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	延 887名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○七宝総合体育館トイレ修繕工事

七宝総合体育館の男子小便器洗浄用水流装置のセンサーが老朽化及び男女トイレの和式便器から洋式便器に切り替える工事を実施しました。

- ・事業内容 便器取替・電気工事・給水設備工事等
- ・事業費 3,142,800円

※ この工事を実施したことにより、安心して利用していただける施設環境を提供することができました。

○七宝総合体育館舞台吊物撤去工事

設備の老朽化に伴って、アリーナの舞台上にあった緞帳設備・照明設備等の撤去工事を実施しました。

- ・事業内容 アリーナ舞台吊物撤去
- ・事業費 2,109,240円

※ この工事を実施したことにより、危険性がなくなり安心して使用していただける施設環境を提供できました。

○甚目寺総合体育館給水設備改修工事

設置後20年以上経過していますが、本年1月に配管の腐食による水漏れが発生し更衣室のシャワーを含め浴室及びサウナの使用を中止していたので、利用者の不便等を解消するため、浴室等の給水設備の修繕を実施しました。

- ・事業内容 配管工事・浴室・壁、床モルタル及びタイル復旧
- ・事業費 5,811,480円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館武道場等空調設備更新工事

甚目寺総合体育館の武道場の空調は、メインアリーナの空調に依存しており武道場を単独で使用する際にもメインアリーナの空調機を作動させねばならず、非効率的であり独立した空調にした方がランニングコストの面からも経済的になりました。

・事業内容 武道場・健康相談室・会議室(1)の空調設備工事

・事業費 9,812,880円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館自動ドア装置取替工事

設置後20年以上経過しているため内側のドアは故障し動作しない状態で交換用部品の供給も終了し、外側のドアも故障し防犯が守れなくなる恐れがあり、施設利用者の安全を確保するため修繕工事を実施しました。

・事業内容 引分式本体設置・外部、内部センサー・自動ドア本体取付

・事業費 1,749,600円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館移動観覧席及び収納ステージ修繕工事

甚目寺総合体育館の移動観覧席及び収納ステージは設置後20年以上経過しているが、うまく動作しない場合があり、また、保守点検時に突然動き出す等の誤作動の恐れもあると指摘され、利用者の安全の確保を図る必要からも修繕工事を実施しました。

・事業内容 駆動装置キャタピラー、シーケンサー、ワイヤー等更新工事

・事業費 1,665,360円

※ この工事を実施したことにより、快適な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館弓道場安土等改修工事

安土が崩れないように水をまいていましたが、長年の利用により痩せてしまったり、射場の床面に傷がついたりして利用者に不便をかけたため修繕工事を実施しました。

・事業内容 安土の補修・保水材散布・的場の修繕・軒樋取付・射場床面改修

・事業費 960,000円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○七宝鷹居グラウンドバックネット改修及びスピーカー移設工事

A面B面共に老朽化によりバックネットが変形しており使用に支障があるため張り替え、ベンチ上にある2個のスピーカーが故障して音がでないため取替えると共にバックネット裏に移設して音響効果を上げる工事を実施しました。

・事業内容 バックネットの改修・スピーカーの移設

・事業費 1,058,400円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○七宝テニスコート改修工事

日よけ屋根設置と入口扉を防球フェンスから独立させて開閉をスムーズに行えるように工事を実施しました。

・事業内容 日よけ屋根設置・入口扉改修工事

・事業費 1,149,876円

※ この工事を実施したことにより、施設環境の改善を図ることができました。

○社会体育施設塩化カルシューム散布及びグラウンド整備工事

グラウンドの凍結防止及び土の飛散防止を目的として塩化カルシュームの散布とグラウンドの不陸を修正する整備工事を実施しました。

・事業内容 塩化カルシュームの散布及びグラウンド整備

※対象：七宝グラウンド、二ツ寺親水公園及び蜂須賀グラウンド

・事業費 1,427,150円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

■美和文化会館事業

下記のとおり各種講座・教室を開催し、多くの参加を得ました。

事業名	開催日	会場名	参加者数
中高年のさわやかヨガ(6回コース)	4月9、23日 5月14、28日 6月11、25日(水)	多目的ホール等	11名
暮らしに役立つ筆ペンボールペン	4月30日(水)	多目的ホール	22名
おしゃれカラーレッスン	6月19日(木)	アートスペースM	11名
プリザーブドフラワー	6月24日(火)	アートスペースM	17名
中高年のさわやかヨガ(6回コース)	7月9、23日 8月6、20日 9月3、17日(水)	多目的ホール等	10名
ジュエリーデコレーションアート	7月26日(土)	アートスペースM	12名
暮らしに役立つ筆ペンボールペン(3回コース)	9月9日、16日、30日(火)	多目的ホール等	12名
初心者向けのやさしいヨガ(6回コース)	10月8、22日 11月12、26日 12月10、24日(水)	多目的ホール等	25名
着物の着付け	10月18日(土)	多目的ホール	8名
ジュエリーデコレーションアート	11月22日(土)	多目的ホール	8名
クリスマスを楽しむキャンドル&プリザーブドフラワー	11月24日(月)	アートスペースM	7名
輝きを失わない心得	12月12日(金)	多目的ホール	2名
パーソナルカラーメイク	12月13日(土)	多目的ホール	8名
トールペイントとデコパージュ	12月20日(土)	多目的ホール	5名

初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	1月14、28日 2月11、25日 3月11、25日（水）	多目的ホール等	16名
アロマヨガ	1月23日（金）	アートスペースM	12名
本物の珈琲の淹れ方	2月24日（火）	多目的ホール	14名
ワンコインコンサートvol.1	6月29日（日）	大ホール	135名
ワンコインコンサートvol.2	10月11日（土）	大ホール	79名
ワンコインコンサートvol.3	1月31日（土）	大ホール	142名
邦楽と舞踊の宴	4月26日（土）	大ホール	529名
親子ふれあい映画会	7月12日（土）	大ホール	237名
文化の杜ミュージカルショー	12月14日（日）	大ホール	381名
あま市民絵画展	12月12（金）～21日（日）	アートスペースM	45名
二日間だけの名画座	2月28日（土） 3月1日（日）	大ホール	276名
文化の杜春祭り	3月22日（日）	大ホール	62名

※ 講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。

■美和図書館事業

下記のとおり企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

事業名	実施内容	期 間	会 場
企画展示	郷土玩具展「再会 お馬さん！（3土の馬）」	4/3～5/31	図書館内展示 ケース
	郷土玩具展「再会 お馬さん！（4土鈴の馬）」	6/3～7/31	
	「鉄道写真展Ⅰ」 市民からお借りした鉄道写真の展示を実施した。	8/5～8/31	
	「鉄道写真展Ⅱ」 市民からお借りした長良川鉄道の写真の展示を実施した。	9/4～9/30	
	「人形展」 市民からお借りした手づくりの人形コスチュームの展示を実施した。	10/4～11/30	

郷土玩具展「愛知県の玩具」 図書館所蔵の大照コレクションの中から、 愛知県にまつわる郷土玩具の展示を実施した。	12/6～1/31
「もくもく座」 甚目寺で「甚目寺説教源氏節」の人形劇を演じるもく もく座の協力を得て人形と小道具の展示を実施した。	2/7～3/31

※ 企画展を開催したことにより来館者が文化に接する機会を提供しました。

○図書館事業

事業名	実施内容	回数	参加者	会場
春のブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供	1回	約500名	美和文化会館ロビー
	おりがみ教室	図書館ボランティアにより幼児・児童を対象に折紙遊びを行った。	1回	47名
ワークショップ	「北欧モバイル」をつくろう 「親子ピクニック」 「ニュースペーパーバック作り」 「親子いっしょ羊毛フェルトで動物小物をつくろう」 「ミニチュアバックづくり」 「かぎ針編みでクリスマスのオーナメントをつくろう」 「本のフィルムコーティング」 「iPadでアニメをつくろう」	10回	延132名	美和文化会館 会議室 多目的ホールA B ふれあいの森
ちくちく手づくりの会	読み聞かせやブックトークの後に絵本やおはなしにでてくるキャラクター等を針と糸で手作りする。	3回	延57名	美和文化会館 会議室
親子でワイワイ本を楽しむ会	親子でゆっくり本を選んでもらう。読み聞かせなどを行った。	2回	延58名	美和文化会館 会議室 多目的ホールA B
1日図書館員	市内小学4年生～中学3年生を対象に図書館の仕事を体験してもらった。	2回	延9名	美和図書館内
秋の図書館まつり	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供	1回	約500名	美和文化会館 ロビー

お楽しみおはなし会	大型絵本、紙芝居、手遊びなどを行った。	1回	170名	美和文化会館 多目的ホールA B
ペンギンとふれあおう	南知多ビーチランドよりペンギン4羽と飼育員に来てもらい、間近で観察した。	1回	500名	美和文化会館 エントランス
工作教室	図書館ボランティアにより工作遊びを行った。	1回	120名	美和文化会館 ロビー
講演会	演題：「詩」 講師：水内喜久雄 氏	1回	36名	美和文化会館 多目的ホールA B
「ワールド・ダンス・ステージ」	世界のダンス・キッズダンスを行った。図書館内では関連本の展示を行った。	1回	250名	美和文化会館 多目的ホールA B
絵手紙教室	絵手紙で年賀状を作成。 講師：近藤喜奴子 氏	1回	19名	美和文化会館 アートスペースM
講演会	演題：「十二単の文化に親しむ」 講師：細川歌子 氏	1回	36名	美和文化会館 多目的ホールA B C
図書館見学	諏訪幼稚園見学 篠田保育園見学 正則保育園見学 正則小学校2年生 美和小学校2年生	6回	延350名	美和文化会館 美和図書館内
職場体験学習	七宝中学校2年生3名 七宝北中学校2年生2名 美和中学校2年生4名 甚目寺中学校2年生6名	4回	延15名	美和図書館内
ブックトーク	美和東小学校1年生	1回	56名	美和東小学校
七夕飾り	図書館来館者に短冊などを笹に飾ってもらった。	6/28～7/6		美和図書館内
読書ラリー	期間中の図書貸出利用が5回、8回に及んだ利用者に対し、賞品を付与。	7/1～8/31		美和図書館内
学習室開設	夏休みの学生のための学習室を開設した。	7/19～ 8/31	延562名	美和文化会館 アートスペースM
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等	44回	延1,419名	美和図書館 おはなしコーナー

ゲー・チョコキ・パーのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉あそび、手あそび等	16回	延446名	美和図書館 おはなしコーナー他
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等	19回	延317名	美和図書館 おはなしコーナー
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等	52回	延1,984名	・子育て支援センター (12回、延398名) ・つどいの広場 (12回、延245名) ・篠田保育園 (12回、延512名) ・正則保育園 (12回、延564名) ・美和保育園 (2回、延124名) ・中川幼稚園 (2回、延141名)
乳児健診読み聞かせ	乳児健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行った。	12回	延164名	美和保健センター
おはなしをきく会	年長児以上を対象にストーリーテリングを行った。	2回	延26名	美和図書館 おはなしコーナー

※ 各種事業、読み聞かせ等を通じて、本を読む楽しさ伝えることができました。

(3) 学校給食センター

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校給食センター課主催事業 親子料理教室

給食で人気の献立や、家庭で簡単に作ることのできる料理を題材とした調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めました。

また、親子で調理をすることで、家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催しました。

事業名	場 所	開催日	受講者数	申込者数
親子料理教室	七宝公民館	8月8日	18組43名	31組
親子料理教室	美和公民館	12月24日	11組21名	19組

※ 児童は料理教室を通して、調理をすることの楽しみを味わうことができ、保護者と一緒に作るにより、家庭での食に対する興味も高め、家族の一員としての意識を向上させることができました。

○学校における食に関する指導の実施

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業を行ったり、給食時に給食を食った教材として指導しました。また、毎月給食センターから献立表や給食だより、盛り付け図などの配布をし、給食を通して食への関心を高めました。

※ 学校給食を考えている栄養教諭・学校栄養職員が直接話すことにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができ、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、話を聞いたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

- ・学校保健委員会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校、篠田小学校
- ・給食試食会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校、秋竹小学校、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校、甚目寺小学校、甚目寺南小学校、甚目寺西小学校、甚目寺東小学校、甚目寺中学校、甚目寺南中学校

※ 栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことで、保護者の興味が高まり、家庭での食に対する関心を期待することができました。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月 3日 (木)	5月分献立検討会
4月 15日 (火)	5月分物資選定委員会
5月 2日 (金)	6月分献立検討会
5月 15日 (木)	6月分物資選定委員会
5月 30日 (金)	7月分献立検討会
6月 13日 (金)	7月分物資選定委員会
6月 30日 (月)	第1回学校給食センター運営委員会
7月 4日 (金)	9月分献立検討会
7月 30日 (水)	9月・2学期分物資選定委員会
9月 3日 (水)	10月分献立検討会
9月 17日 (水)	10月分物資選定委員会
10月 3日 (金)	11月分献立検討会
10月 15日 (水)	11月分物資選定委員会
10月 31日 (金)	12月分献立検討会
11月 14日 (金)	12月分物資選定委員会
11月 28日 (金)	1月分献立検討会
12月 11日 (木)、12日 (金)	1月・3学期分物資選定委員会
12月 19日 (金)	2月分献立検討会

1月16日(金)	2月分物資選定委員会
1月30日(金)	3月分献立検討会
2月13日(金)	3月分物資選定委員会
2月25日(水)	第2回学校給食センター運営委員会
2月27日(金)	4月分献立検討会
3月17日(火)	4月・1学期分物資選定委員会

■学校給食センター整備事業

安全・安心に学校給食を提供するために、次の整備工事を行いました。

○甚目寺学校給食センター真空冷却機修繕工事

真空冷却機を設置してから12年が経過し、正常な作動が困難になったため、オーバーホールを行いました。

- ・事業内容 真空冷却機修繕工事
- ・事業費 1,998,000円

※ この工事を実施したことにより、食材の冷却が正常にでき、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○美和学校給食センターエアコン取替工事

事務室のエアコンが老朽化により正常に起動しなく、部品供給もなく修理不可能なため取替をしました。

- ・事業内容 エアコン取替工事
- ・事業費 324,864円

※ この工事を実施したことにより、空調システムの安定した機能維持を図ることができ、夏場における熱中症対策、業務に支障をきたすことがなくなりました。

○七宝学校給食センター回転釜購入業務

平成6年に購入してから20年が経過し、老朽化が著しく、また部品の供給もなく、給食提供に影響を及ぼす恐れがあるため、オートミックスから調理の効率が良い回転釜の購入をしました。

- ・事業内容 回転釜購入業務
- ・事業費 2,671,920円

※ この購入業務を実施したことにより、調理の用途が増え、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○七宝学校給食センター冷蔵庫購入業務

平成6年に購入してから20年が経過し、冷蔵庫2基の温度調整が安定せず、部品の供給もなくなり購入をしました。

- ・事業内容 冷蔵庫購入業務
- ・事業費 864,000円

※ この購入業務を実施したことにより、食材の温度管理や衛生面等安全な保管場所を確保して、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○新学校給食センター建設に係る発注者支援委託業務

新学校給食センター建設を平成31年度に完成を目指すにあたって、発注関係業務の専門的知識を活用しました。

- ・事業内容 基本構想・基本計画等の技術的アドバイス
地質調査に係る技術的アドバイス
- ・事業費 495,720円

※ この業務を実施したことにより、専門的なアドバイスを受けることができました。

○地質調査業務

新学校給食センターにおいて、地質調査で建設の可否調査を行う必要があり、専門業者で調査業務を行いました。

- ・事業内容 建設予定地で4ヶ所160mの地質調査
- ・事業費 3,510,000円

※ この業務を実施したことにより、40mにおいて砂礫層に到達したため、建設可能であることが確認できました。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	平尾 理（元佐織中学校長、あま市内在住）
--------	----------------------

今年には戦後70年の節目にあたる。国会では、安保関連法案について論戦が繰り広げられており、注視されている。とはいえ、国民の多くは戦争を知らず、豊かで平和な生活を送ってきたためか、一般的に政治への関心は低い。それは、選挙における投票率が如実に表している。しかし、この傾向を是正するための有効な手立てはない。まして、公教育においては政治的中立が求められるため、政治教育は敬遠されやすい。

このような中、この度の改正公職選挙法は、この現状に一石を投じることになる。例えば選挙権年齢が18歳以上となり、若者が政治への関心を示すことが期待される一方で、この改正により彼らの選挙運動も可能となるため、事と次第によっては公選法に抵触することも推測されるのである。今後は義務教育においても、子どもたちが将来の望ましい主権者となるため、政治への関心を高めるとともに、公正な選挙についての指導が喫緊の課題であろう。

教育委員会においては、地域はもとより、各界・各方面からの情報を収集し、小中学校に適切な指導・助言がなされるよう期待したい。

さて、「あま市教育立市プラン」が策定されて3年目を迎える。このプランの目的（多様化する価値観の中で、子どもと大人が共に生き、一人一人がいきいきと輝く生涯学習社会の創造）達成のための歩みは着実に前進している。特に、「あまっ子宣言」は市教委の子育てへの構えが明確かつ具体化されており評価される。今後は、さらなる学校教育の充実を図るとともに、地域社会を含めた生涯学習の進展を望みたい。

○ 学校教育

1 教育相談センター事業について

学校教育の第一義的な目的は、人間関係・相互理解と協同の心・自主及び自律の精神、そして国家・社会の形成者の育成にある。教育相談はこの目的遂行するため、極めて大きな責務を担っている。あま市では人的・物的配置はもとより、所員の小中学校への積極的な関わりをはじめとした活動内容は、ますます充実してきた。

また、学校教育から家庭教育に至る幅広い相談活動は、実際に多くの児童生徒に自尊感・社会有用感を与えており、同センターの存在意義は大きいものがある。

2 小中学校適正規模等見直し検討事業について

学区の見直しについては、ここ数年間検討を重ねているが、依然として方向性は見えて来ないのが現状である。この種の問題は、一朝一夕には完結する例は極めて少なく、十分な話し合いと互いの意見を尊重する姿勢が不可欠である。しかし、最

も大切なことは、常に子どもたちの未来を議論の柱に据えた建設的な話し合いが持たれることである。

とりわけ、地区委員会においては、他の自治体の例を調査する等、予測されるメリット・デメリットを十分把握し、規模の適正がどのような教育効果をもたらすのかを含め、引き続き粘り強いアプローチを期待したい。

3 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業について

道徳教育の充実とは時代を超えて求められるものである。この度、「特別な教科」として格上げされる道徳は、近々本格実施を見ることになる。教科化には賛否があるが、道徳の重要性について異論はない。学校ではいじめが後を絶たず、社会では種々のハラスメントが社会問題化し、多くの不幸を招いている。道徳心の低下が一因である。すでに市内の学校では、生命の尊重と相互扶助を中心に大学等から講師を招く等、現職研修を進めている。凶らずも道徳教育はあま市民が目指す人権教育と大いに重なるため、さらなる充実を期待したい。

4 特色ある学校づくり推進事業について

各校では、伝統や置かれている地域性に支えられた学習活動をはじめ、世情を敏感に捉えた学習活動や教職員の力量向上のための研究と修養等、充実した学校づくりを展開している。中でも、小中学校が連携した活動や人権教育を柱とした学習、地域の人材を活用した授業は魅力がある。また、前述の公選法改正を受けて模擬投票体験等に取り組むなど、先駆的な活動にも敬意を表したい。

教育委員会として、さらに学校を支援し続けるとともに、取り組みにおけるマンネリ感と負担感を軽減できるよう工夫を促したい。

5 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業・学校支援会議について

市教委が支援するこの取り組みは、地域の教育力を活用するものであり、実社会で役立つ学習の奨励である。いわゆる「あまっ子宣言」の具現化であろう。小中学校においては、単発的なものから系統性のあるものにするため、発達段階に応じた教育課程への位置づけとニーズに合った学習活動になることを希望する。特に、いじめ、不登校問題をはじめとする生徒指導面では、学校支援会議の忌憚なき意見を期待したい。いずれにせよ、各校区で学校が話題に上がることは教育に復活の兆しを見る思いである。

○ 生涯学習

生涯学習政策局は、文部科学省の筆頭部局である。地教委においても常に教育の中核を担うセクションであり、社会教育の振興、男女共同参画の推進、家庭教育の支援に至るまで守備範囲は広い。あま市においても数多くの事業を展開し、一定の評価はできる。今後はさらに、「教育力の再生」のため、ボランティア活動やスポーツ・文化

体験活動、学校支援、子育て支援等、世代を超えた交流を通じて生涯学習の充実を図るとともに、社会教育施設を活用し、公民館を核とした地域活動を大いに情宣し、目的ある学習活動を目指してほしい。

今年度新設されたスポーツ課が、地域づくり・人づくり・絆づくりに対し、どのように着手するか、その立ち位置とともに注目される。

○ 学校給食センター

最も配慮を要するものに「食物アレルギー」があげられる。これは、子どもが生命の危険にさらされる場合もあり、校長を中心に養護教諭・栄養教諭・学年・担任をはじめとする全職員のきめ細かな共通認識と緊急時の対応が求められる。同時に、家庭と連携した子どもたちの自己防衛力の育成が求められよう。

学校給食は、「食」を通じての心身の健康をはじめ、食材についてのエピソードの提供、栄養教諭等の「食に関する指導」、市民とともに活動する「親子料理教室」等、いまや学校だけでなく生涯学習に至るまで多岐にわたる。

「あまっ子」の食卓には、場を問わず常に感謝の言葉が交わされることを望みたい。

学識経験者名	大西 純滋（あま市まちづくり委員会委員、秋竹小学校評議員）
--------	-------------------------------

あま市も合併し5年が過ぎ、平成24年4月に策定されたあま市の「あま市教育立市プラン」も4年になろうとしている。また、平成26年4月に市内の小中学生が作成した「あまっ子宣言」が発表され「あまっ子」たる子どもの育成を目指し確実に歩んでいると思われる。また、その理念も少しずつ現実味を帯び市民に浸透しつつある。

また、文部科学省からは、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を推進するとの提言がされ、まちづくりの拠点としての学校の運営に保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら地域が一体となって教育にかかわろうとするシステム作りが俎上に上がっている。教育こそが未来への有効な投資であり、あま市としては1人でも多くの「あまっ子」の育成に尽力してほしい。その中での教育委員会の取り組みについて所見を述べさせていただきます報告書としたい。

○ あま市教育相談センターについて

不登校児童・生徒の適応指導及び相談を主たる目的として設立された教育相談センターが、臨床心理士（非常勤）が3名配置されたことにより就学に関する相談や各学校の先生に対する相談にも対応している。また、27年度から配置された生徒指導対応の学校支援アドバイザーの活用も楽しみである。しばらくこの取り組みに注目したい。

○ パワーアップ講座・あま教師塾・教育人材バンクについて

あま市教育委員会では、若手教職員の教師力向上と専門的なリーダー育成のための研修を積み重ねている。たいへん意義深いことだと思う。多くの問題を抱えている学校現場で役立つ研修を今後も続けていただきたい。また、教育人材バンクは学校の支援のため地域の人材を登録し活用する事業であるが、あまり活用されていない。学校ごとには地域の人々がいろいろな機会にゲストティーチャーとして入っている。地元の人材を掘り起こすだけでは意味がないのではないか他の活用方法も考えたい。

○ 小中学校適正規模等見直しについて

学区の見直しは平成24年より始まり、地区代表、PTA代表、学校関係者が出席し児童生徒、通学距離等の意見を聞きながら行われている。議事録などを確認すると、今だ旧3町の考えのご意見が多くあり、あま市の市民であるという考えが不足している。近隣の住民だけでなく学校の関係者やPTA役員との話し合いを多く設ける必要があるのではないか。この事業については検討委員会・関係者の勇気が必要と考える。あま市においては小中あわせて17の学校があり、児童生徒数の多い学校では先生方の目が届き難いこともあり、児童生徒の内でもストレスをもつ児童生徒もいるのではな

いか。再編については歴史・地域性・人間関係等様々な問題を含んでいるが、適正な規模への再編を優先すべきと考える。問題解決に向けた教育委員会の努力を求める。

○ 生涯学習について

各地区の公民館を中心に各種社会教育講座、行事を行っている。対象者が高齢者である場合が多く、あま市の将来を背負う若い世代向けの企画が少ないと感ずる。若い世代の顔が見られる行事・企画が増えるとあま市の活性化につながると思う。

○ 新給食センターについて

児童生徒、保育園児の給食を賄う新給食センターが建設されると聞いた。未来志向の効率的な施設になることを望む。また、栄養教諭・学校栄養職員が学校に出向き、児童・生徒に食の指導をし、食への関心をもたせているとの事、きめ細やかに食べることを取り上げた事によって家庭でも保護者の食に関する興味が高まって大変意義深いと思われる。これからも積極的に「食に関する指導」を進めていただきたい。

○ スポーツ教室について

若年層から高年齢層までのスポーツ教室を開催し、体力向上・健康増進といろいろな内容を変え、市民に身体を動かす楽しさを提供しているが、毎年同じ時期に同じ場所で教室や講座が実施されている。地区や時期をずらすことができれば、さらに参加者が増えると思われる。スポーツ教室によって体力向上、地域の絆、市の活性化に大きな役割を市民に提供している。これからも、意欲的な事業の実施に期待する。